

スローガン	野球を通じた人格形成。		
目標	土台礎作りからの全国制覇。		
PR	指導者の人間力・スキル・実績（都市対抗大会3回・日本選手権4～6回出場）があり、それらの経験から野球を通じた人格形成と基本を大事にした指導を受けられます。		
求める人	<p>野球を通じて人格形成を身につけたい生徒及び保護者。</p> <p>中学から野球を始めたい生徒及び保護者。</p> <p>土台礎作りからみんなで一緒に歴史を作りたい生徒及び保護者。</p> <p>アメリカ MLB・日本 NPB を目指す者から、社会人・大学・高校でも野球を楽しみ追究発想したい生徒及び保護者。</p> <p>マネージャー（大学などでは就職先に人気です）・アナリスト（プロはもちろんですが、最近では科学部との連携で県大会上位進出する公立高校も）志望者も大歓迎です。</p>		
Etc	<p>保護者当番はありません。</p> <p>2025年の3年生には、4名が中学から野球を始め楽しみ、レギュラーになった生徒もいました。</p> <p>指導者の三富氏が日大時代阪神元監督の和田氏と同期で、社会人野球監督時に培った、プロ・社会人・大学・高校への全国ネットワークに定評があり、代表者は、元メジャーリーガーのマック鈴木氏の会社役員をしている関係からアメリカルートもあり、日本プロ野球 OB 会他との関係も深く、様々なニーズに対応できる人脈は特長あります。</p>		
活動日時	平日 授業終了後より 16時45分の部活動。 その後地域クラブとして活動とナイター練習も検討中。	土日祝日 現状は基本的に午前か午後の3時間から4時間程度です。	長期休業時 合宿等 お盆は先祖様を大事にさせていただき、年末年始も英気を養っていただきます。 合宿は今後の検討課題です。
主な活動場所	味方中 山ノ下中	白新中 白根第一中	柳都中 ゆいぼーと
	一ヶ月	その他経費	

会費	2000 円	現状ありません	
指導者名	伊敷 昇大 (元バイタルネット 硬式野球部コーチ)	三富 一彦 (元バイタルネット 硬式野球部監督)	
担当 連絡先 SNS	担当苗字 朝妻 義孝 メールアドレス asatsuma@nsi.jp	電話 090-1039- 0909	SNS 柳都クラブのHP  新潟柳都BCの Instagram
本年度の大会、コン クール、発表実績	第42回全日本少年軟式野球大会新潟地区予選2回戦進出敗退 新潟県中学総体軟式野球2025全中予選大会1回戦敗退 第17回全日本春季軟式野球大会新潟市予選大会、山ノ下中との 合同チームとして出場し、1回戦敗退		
その他必要事項など	<p>現在は2年生2名、1年生3名のため、白根第一中・味方中・赤塚中との合同チームとなっております。</p> <p>スローガンを達成するために *チームワークとコミュニケーション能力を育む 「教え合いの時間」 学年の枠を越えてルールを理解やプレーを教える時間 教える側は理解が深まり説明能力が向上し、教わる側は学ぶ姿勢やコミュニケーション能力が向上。 「意見を出し合うミーティング」 練習前後や試合前後に選手同士で、プレーの課題や改善点・目標などについて、自由に意見を出し合い議論の機会を増やし、自分の考えをまとめて発信する力、多様な意見を受け入れる力を養います。 *礼儀・規律・感謝の心を育む 「凡事徹底の徹底」 道具用具室の整理整頓。 挨拶・時間・報連相の徹底。 「全力疾走と全力発声の習慣化」 練習中から常に全力で行動し、自分自身を奮い立たせ、チームメートを鼓舞するために全力で声を出し、精神的な集中力と、けじめある行動を身につける。 「感謝の表現」 練習の準備や片付け・グラウンドへの感謝・指導者や保護者への感謝を言葉や行動で示す。</p>		

\*精神的な粘り強さと自立心を育む

「目標設定と振り返り」

個人的な技術目標だけでなく、行動面や精神面での目標も設定し定期的に自己評価とチームでのフィードバックを行う。

「言い訳をしない習慣」

失敗は成功の基のとおり、失敗を恐れず言い訳をせずに、毎回原因と分析改善策を考える姿勢の指導します。

「食事」

体調管理・睡眠など、自己管理能力を高めるための指導をします。

これらのことから、「野球は社会に通じる」という意識を持ってもらうようにし「人間力の向上なくして、野球力の向上なし」というメッセージを伝え続け、スローガンが達成できればと考えます。

尚、平日練習の遠方生徒または様々な都合ある場合については、自由参加で、土日祝だけでも大丈夫です。